

経済振興委員会報告資料

九州大学箱崎キャンパス跡地における
水素実装について

令和 6 年 9 月
経済観光文化局

九州大学箱崎キャンパス跡地における水素実装について

1. 報告概要

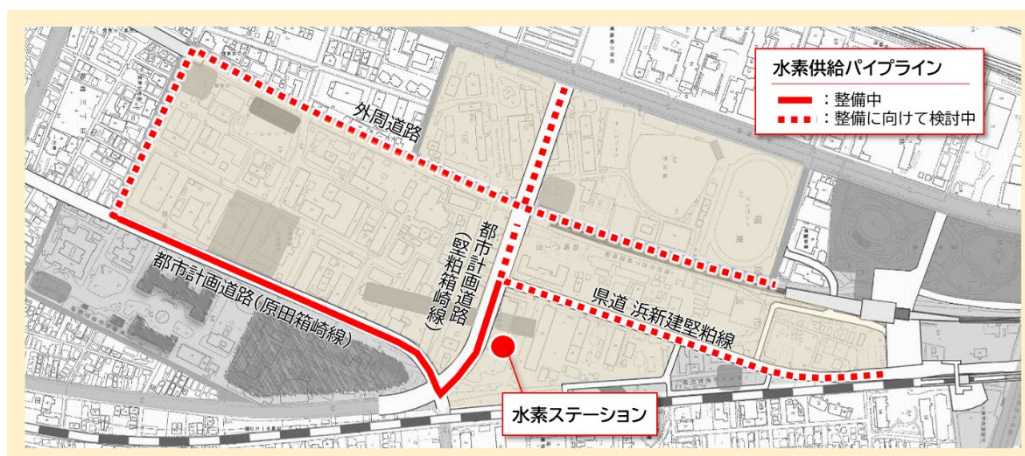
- 福岡市では、市民生活への水素エネルギーの実装や新たな需要創出に向けて、様々な社会課題を先進的な技術で解決する Fukuoka Smart East の取組みが進められている九州大学箱崎キャンパス跡地において、水素社会の実現に向けたモデルとなるよう、水素の供給や利活用の検討を進めている。
- 今回、水素実装等の進捗状況及び水素の供給拠点である「水素ステーション」の整備等に関する基本的な考え方を報告するもの。

2. 水素実装等の進捗状況

- 九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりについては、令和 6 年 4 月に優先交渉権者が決定され、現在、九州大学、UR都市機構及び優先交渉権者と提案内容の具体化に向けた協議を進めている。
- 街区への水素供給手段である「水素供給パイプライン」については、掘り返し防止の観点から、できるだけ道路の整備等と合わせて敷設を進めている。また、水素の利活用に必要な「純水素燃料電池」については、現在、優先交渉権者等と導入に向けた協議を進めている。

【優先交渉権者の提案概要】

- ・ 純水素燃料電池 5 基、合計 119.9kW を設置予定
(35kW×3 基、9.9kW×1 基、5kW×1 基)
- ・ オフィスや住居など5か所の共用部の電灯や空調などで活用予定



<位置図>

3. 水素ステーションの整備等に関する基本的な考え方

水素の供給拠点である水素ステーションの整備等に関する基本的な考え方は、以下のとおりとする。

(1) 水素の供給について

水素供給パイプラインを用いた純水素燃料電池(公共施設や民間施設に設置)への水素供給に加え、FCV(燃料電池自動車)への水素充填に必要な設備等を整備する。

【水素需要量(※1)】

・約 150kg/日

純水素燃料電池への供給(※2)	約 60kg(民間施設)
FCV への充填	約 90kg

※1 令和 12 年度時点の想定

※2 公共施設における純水素燃料電池への供給については、検討中

【主な設備】

- ・パイプライン供給設備
パイプラインへ水素を供給するために必要な設備として、整圧器や付臭装置、流量計など
- ・FCV への充填設備
FCV への水素充填に必要な設備として、圧縮機や蓄圧器、冷却塔など
- ・管理運営に必要な事務所など

(2) 水素の普及促進

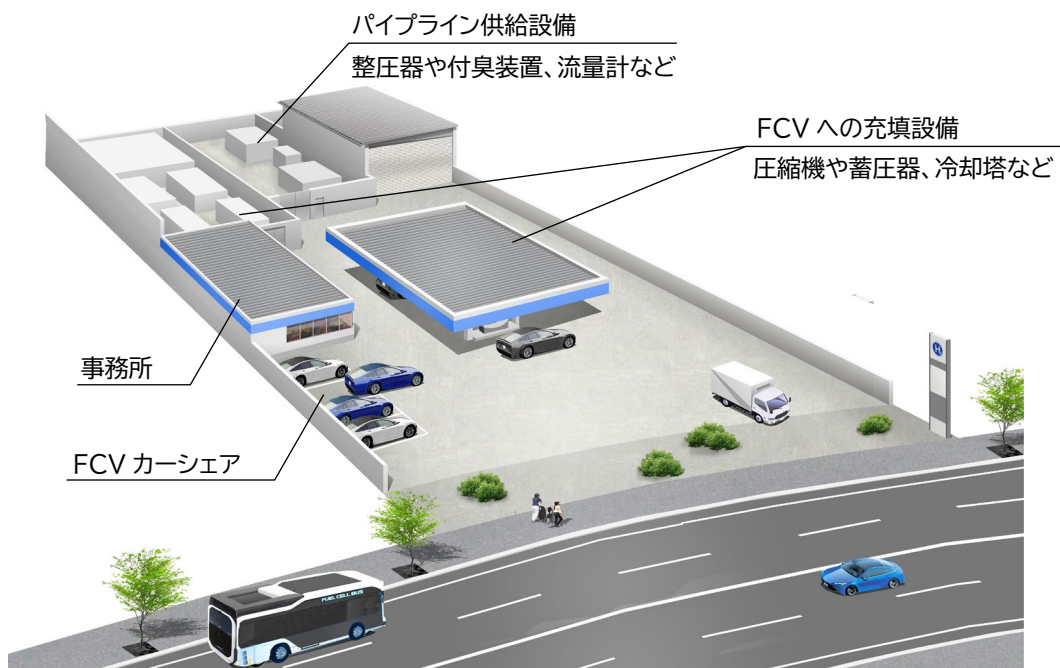
水素の普及促進のために、FCV カーシェアの導入等について検討する。

(3) 土地面積

約 2,100 m²(予定)

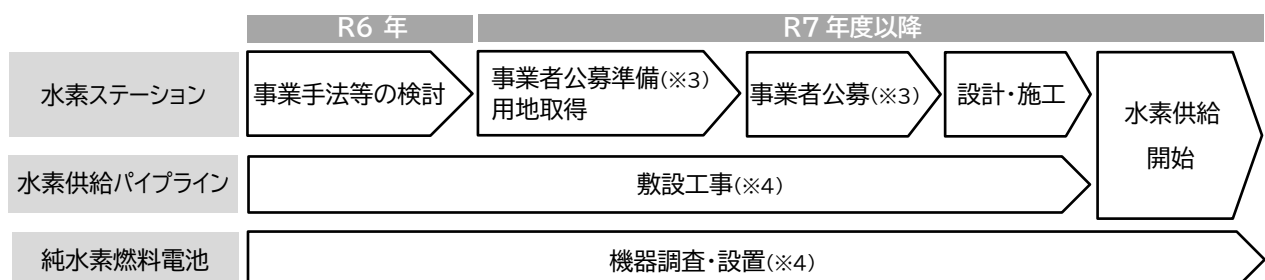
(4) 官民連携による整備・運営

水素ステーションの整備・運営については、民間事業者が有するノウハウを活用し、効率的な整備・運営を実施できるよう、民間活力の導入を検討する。



<水素ステーションのイメージ> ※配置等は今後変更の可能性あり

4. 事業スケジュール(案)



※3 事業手法の検討の結果、PFI などにより事業を実施する場合

※4 水素供給パイプラインおよび純水素燃料電池の管理運営の事業手法については検討中